

第42回ソフトボール大会開催

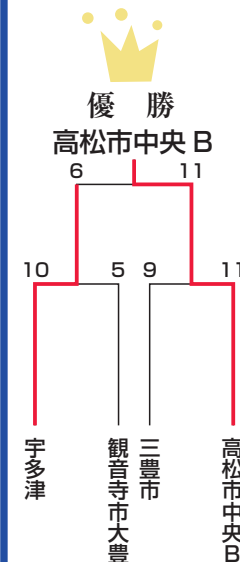
香川県商工会青年部連合会

高松市中央商工会青年部Bチームが優勝

県商工会青年部連合会（会長渡邊一雅）は、9月10日、東かがわ市の白鳥中央公園にて、ソフトボール大会を開催した。13チームが参加し上位結果は次の通り。

優勝 高松市中央商工会青年部Bチーム

準優勝 宇多津商工会青年部



軽減税率対策補助金（レジ導入・改修等）

平成30年1月31日が申請期限です！

平成31年10月に実施される消費税軽減税率制度への対応が必要となる中小企業・小規模事業者等の方々が、複数税率対応レジの導入や、受発注システムの改修などを行うにあたって、その経費の一部を補助する制度です。

A型：複数税率対応レジの導入等支援

- 対象者 複数税率に対応できるレジを新しく導入したり、既存レジを改修する小売事業者等
- 補助率 原則 2/3
※ 3万円未満のレジ購入の場合3/4
※ タブレット等の汎用端末は1/2
- 補助上限 1台あたり20万円
※ 商品マスタの設定や機器設置等が必要な場合には、さらに20万円を上限に補助



B型：受発注システムの改修等支援

- 対象者 電子的な受発注システム（EDI / EOS等）を利用する事業者のうち、複数税率に対応するために必要となる機能について、改修・入替を行う必要がある事業者等
- 補助率 2/3
- 補助上限 小売事業者等の発注システム 1,000万円
卸売事業者等の受注システム 150万円

詳しくは、軽減税率対策補助金ホームページよりご確認ください。
<http://kzt-hojo.jp/>

エキスパート登録 専門家からの

ワンポイント
アドバイス



Office123 代表 谷 益美氏

経歴

2005年Office123設立。早稲田大学MBA、岡山大学非常勤講師。専門はファシリテーション及びビジネスコーチング。全国の企業、大学、官公庁などで年間150本超の対話型研修等を行う。著書『リーダーのための！ファシリテーションスキル』『リーダーのための！コーチングスキル』（すばる舎）他

生産性を上げる「会議改善3つの視点」

「ファシリテーションを学びたい」最近、多くのビジネスパーソンからこんな言葉を頻繁に聞くようになりました。「ファシリテーション」とは、チーム活動を促進し、意見や気持ちを「引き出してまとめる」コミュニケーションスキル。活用するシーンは多々ありますが、本稿では、「無駄が多い」と言われがちな「会議」を改善する3つの視点をお伝えします。

●3つの視点で最適化しよう

【準備】…議事の共有、資料の準備など、会議前にやっておくべきことはたくさんあります。ただ、準備に時間を掛けすぎて、現場に負担を感じさせてしまうのも本末転倒です。過度に資料を準備し過ぎていないか、効率化できることはないかなど、常に改善思考を持ちましょう。生産性を高めたいなら、「終了時刻」の設定も不可欠です。また「なんで呼ばれたんだろう…」と感じるメンバーがいては、現場はスムーズに回りません。参加者の選定にも目的を持って。「とりあえず全員参加ね」と安易な呼び掛けは禁物です。

【会議中】…会議中のポイントは、意見を「引き出し」「まとめる」こと。ファシリテーター（進行役）はそのために、話しやすい態度を心がけます。前向きな意見を引き出す質問や、適切な情報提供も重要。出てきた意見はホワイトボードにまとめて「見える化」し、共有することが重要です。

【フォロー】…決まったことをどのように進捗管理するか、次回の会議予定や現場の仕組みを決めておくことが必要です。次回予定を決めることで、自然とマイルストーンが決まり、どこまで進めるかが明確になり、参加者の当事者意識も高まるのです。

会議を進行する上で忘れてはならないことは、一番大事なものは「現場」だということ。会議はあくまで現場をよりよくするためのツールであり、チームの意見を引き出しまとめるための機会です。何のための会議なのか、出すべき成果は何かを明確にして、意義ある時間へと変えていきましょう。